



見て聴いて感じる 宇宙の旅 in やまぐち

青少年教育班

宇宙を身近に感じられるような体験活動の実施や、宇宙産業に関わっている県内企業と連携した宇宙関連技術の見学を通して、宇宙や科学への興味・関心を高め、将来のイノベーション人材を育成することを目的に、1月28日（土）に「見て聴いて感じる 宇宙の旅 in やまぐち」を開催し、教材演習や工場見学等を実施しました。

厳しい寒さの中ではありませんでしたが、県外からも参加いただき、教材演習や「宇宙おにぎり」を食べる体験や、日頃見ることができない山口県内の企業の優れた技術を学ぶことで、宇宙や科学に対するあこがれが醸成され、有意義な時間となりました。

教材演習：「フィルムケースロケット」



宇宙食体験：「宇宙おにぎり」



県内宇宙産業取り組み企業 ブース見学



株式会社 伸和精工 工場見学



【参加者感想】

- 子どもが大変満足しておりましたので、参加してよかったです。宇宙に触れる機会はなかなかないので、より身近に感じることができました。
- 地元企業との合同開催とのことで、地元企業の技術等に触れる機会を得て、子ども達も山口の企業の技術力は宇宙まで通用するってすごいと口にしていました。本当の凄さがわかる年になるまでにはもう少し時間が必要かと思いますが、良いイグニッションになったかと思います。
- 人工衛星の知らなかった情報が分かり、興味がわきました。また、あまり知らなかった宇宙のことについて深く知ることができ、とても嬉しく思いました。ロケットのことも分かり良い体験が出来たと思います。将来の進路設計の糧になりました。

PTAと連携した家庭教育支援事業

家庭教育支援班

本事業は、保護者の縦と横のつながりをつくり、小学校就学前から中学校卒業までを通した継続的な家庭教育支援の体制づくりを目的に、令和元年度から4年度までの4か年計画で調査研究を行いました。4年間で県内20の中学校区がモデル中学校区となり、学校や地域の実情に応じた家庭教育支援の取組をPTAが主体となって実施しました。今回は、令和2年度のモデル中学校区である山口市立白石中学校区の取組の一部を紹介します。

活動 「しらっぴーカフェ」(保護者カフェ)

コロナ禍で保護者同士がつながる場や、保護者と先生が関わる機会が減ってしまったという保護者の声を受け、保護者や先生がざっくばらんに話をする場をPTA執行部が中心となって企画しました。



学校行事や地域のイベントで子育てカフェを開催しました。保護者同士が気軽に子育てについて話したり、先生も飛び入り参加したりと、大変盛り上がりました。

このようなモデル中学校区の活動をまとめたリーフレットを令和5年4月に県内の全小・中学校に配付する予定にしています。PTAが中心となって、家庭教育について保護者同士がつながり、支え合う取組の参考にしてください。

「やまぐちCSプロモーション」随時更新中！

地域連携教育班

地域連携教育の一層の充実と情報共有を図るため、「やまぐちCSプロモーション」(Facebook ページ)による広報周知を進めています。地域連携における県立学校の取組や市町のウィズコロナ下でも持続可能な取組の好事例を広く紹介しています。以下のURL、及び二次元コードから御覧いただくことができますので、フォローもあわせてよろしくお願いします。→ <https://www.facebook.com/C.E.P.O.Yamaguchi/>



【これまでの掲載事例】

- 田布施町立田布施中学校 「中学生が地域の方とともに～コスモスマつりでボランティア～」
- 長門市立明倫小学校 三隅公民館 「大人のためのオープンスクール～学校へ行こう～」
- 県立山口高等学校 「化学・生物部が附属山口小で『わいわい実験教室』を開催しました！」
- 県立田部高等学校 「校則について～グループ協議～」

※この他にも県立学校、市町立学校の多くの好事例を掲載しています！

また、「やまぐちCSプロモーション」は、山口県教育委員会の「ふれあい夢通信」SNS (LINE, Facebook, Twitter) を通じて、皆様の情報端末に更新のお知らせをお届けしています。